

第 64 回 日本赤十字社診療放射線技師定期総会 議事録

1. 日 時 : 平成 29 年 6 月 23 日 (金) 15 : 30~17 : 00
2. 会 場 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1 東京国際フォーラム ホール D-5
3. 出席者 : 日本赤十字社診療放射線技師会 会員 141 名
4. 議事録作成人 総務部常任理事 山本 晃司
5. 総会次第
 - ① 開会の辞
 - ② 会長挨拶
 - ③ 表 彰
 - ④ 総会議事運営報告
 - ⑤ 議長選出
 - ⑥ 議事録署名人選出、採決係り任命
 - ⑦ 議事

第一号議案	平成 28 年度事業経過報告
第二号議案	平成 28 年度決算報告
第三号議案	平成 28 年度監査報告
第四号議案	平成 29 年度事業計画 (案)
第五号議案	平成 29 年度予算計画 (案)
第六号議案	平成 29・30 年度役員改選について
第七号議案	その他
 - ⑧ 議長解任
 - ⑨ 閉会の辞

総会次第に基づいて開会の辞、清水会長の挨拶の後、議事審議へと続いた。

- 会員表彰に先立ち清水会長によって、「定期総会は我々執行部の通知表だと思っております。オール 5 が取れば良いとは思いますが、それはなかなか難しく、及第点を取ればと考えています。及第点が取ればさらにその上の点数が望め、会の発展に繋がっていきます。今年度は役員改選の年であり、さらに先へ進めるような組織運営にしたいと考えています。」と挨拶がなされた。

- 表彰式は委員長の正者理事により執り行われ、功労賞 15 名、奨励賞 6 名、感謝状被贈呈企業 2 社が表彰された。(敬称略、順不同)

※功労賞被表彰者 15 名

(栗山) 前川 信秀、(盛岡) 安達 廣司郎、(盛岡) 藤村 貴順、(盛岡) 高橋 義浩、(盛岡) 新田 仁、(那須) 高久 道行、(さいたま) 坂口 雅彦、(福井) 石田 智広、(飯山) 高澤 茂正、(飯山) 樋田 正彦、(高山) 坂本 清隆、(名古屋第一) 山田 仁一、(高知) 秦泉寺 節男、(熊本健康管理) 藤田 清一、(熊本) 白石 修、

※奨励賞被表彰者 6 名

(武蔵野) 増島 一貴、(伊勢) 喜多 真弓、(伊勢) 森嶋 毅行、(伊勢) 柴原 卓彦、

(伊勢) 林 奈緒子、(神戸) 中田 正明

※感謝状被贈呈企業 2社 (医療機器貸与による熊本地震災害医療活動へのご協力に対し)
株式会社日立製作所、富士フィルムメディカル株式会社

- 総会議事運営報告 (資格審査報告) を執行部 荒井が報告した。
本日の出席者 141 名、委任状提出者 1334 名、合計 1475 名を確認し、
会則第 20 条に基づき本総会は成立と報告された。
- 議長選出となる。会場より立候補がないため、総会参加者の中から議長 2 名が執行部より推薦された。
議長に、松山赤十字病院 水口 司氏、徳島赤十字病院 福井 義治氏。
そして、議長から議事録署名人・採決係りに 4 名が任命され、会場からの拍手をもって全員が承認された。
議事録署名人に、水戸赤十字病院 山縣 徳治氏、小川赤十字病院 小林 教浩氏。
採決質疑記録係に、京都第二赤十字病院 錦織 優希氏、高知赤十字病院 白石 卓也氏。

- 議長、水口氏の進行により議事に入った。(第一号議案から第三号議案)

1、第一号議案から第三号議案まで一括して執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

質疑なし。議長の進行により挙手で採決に入った。

※第一号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 141)。第一号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,475)

※第二号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 141)。第二号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,475)

※第三号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 141)。第三号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,475)

議長を福井氏に交代し議事を進めた。(第四号議案から第五号議案)

2、第四号議案から第五号議案まで一括して執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

第五号議案について、神戸赤十字病院 古東氏より質問がなされた。

(古東氏) 特別会計 (平成 29 年学術総会収支予算) に記載してある支出の項目で、情報交換会費用の 820,000 円は、参加登録費から流用支出しているのではないかと情報交換会に参加しない会員のお金をそれに使うのは問題では？

(安彦副会長) ランチョンセミナー開催企業から、協賛開催費として 700,000 円を頂いている。これらは税法上、収入の方へ計上していない。実際ならば収入、支出ともプラス 700,000 円であり、情報交換会費はそちらから支出していると考えて頂いても良いかと思う。しかし、これらの協賛が今後、続くかどうか不透明であり、今回も含め経費を節約して開催しているのが現状である。そういった点で、今年の予算案は一般会計から助成金として 40,000 円を計上している。情報交換会の開催が厳しくなれば、費用の見直し、また全くの別会計にする事も考えていく。

(古東氏) 日赤本社に開催助成金をお願いする事は無理であろうか？

(清水会長) 実際にしたわけでないが、日赤本社に申請しても無理だと考える。日赤医学会においても、当番施設の収支で行っている。

(古東氏) これから協賛も厳しくなっていくと思われる。そういった将来を見越して、予算案を考えて頂きたい

その他、質疑なし。議長の進行により挙手で採決に入った。

※第四号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 141)。第四号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,475)

※第五号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 141)。第五号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,475)

3、第六号議案について、山下選挙管理委員長より報告がなされた。

報告後、質疑応答に入った。

質疑なし。会場からの大きな拍手により、平成 29・30 年度役員が承認された。

4、第七号議案として、執行部より今回で退任される、会長 清水 文孝氏 (深谷赤十字病院)、監事 石田 智広氏 (福井赤十字病院)、監事 久保田 利夫氏 (前橋赤十字病院) の名誉会員への推薦案が提示された。

会場からの大きな拍手により全員が承認された。

以上にて、議事を全て終了し議長は解任となり総会は終了となった。

以上

議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議事録署名人、議長は次のとおり署名押印する。

平成 29 年 7 月 6 日

議事録署名人

_____山縣 徳治_____(印)

_____小林 教浩_____(印)

定期総会議長

_____水口 司_____(印)

_____福井 義治_____(印)